

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館整備事業			会計	款	項目	大	小	
				01	03	01	04	01	51
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）		主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり		主管課長	矢口 道夫				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館の利用者	意図	福祉会館を地域福祉活動の拠点として、満足して使用してもらう
事業内容	全15館の福祉会館のうち、経年劣化の著しい福祉会館を年次計画に基づいて改修する。施設満足度調査における意見を集計し、要望の多い事項から順次施設を改修する。			
事業開始から現在までの状況変化	会館建設以来、次第に経年劣化してきた施設を計画的に一部改修、或いは全面改修してきた。会館の経年劣化は年々進行しており、単なる改修工事では済まない時期が到来する。市内全体の中で福祉会館をどのように集約するかが求められている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 突発的な整備件数	10	6	2	件	↓↓↓	10万円以上の整備（計画に基づくものを除く）
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・全15館中、13館が築20年を経過している。 ・利用者から要望が多い、大広間の床フローリング改修とトイレ改修について ・フローリング改修（西深井） ・トイレ改修（流山、江戸川台） 残りの会館については計画的に実施する。 ・大広間の畳の上でイスが使用できるよう、各館に会議テーブルと折畳イスを配置した。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,653,845	11,810,846	19,876,939			
事業費(b)(円)		4,218,245	10,413,446	18,495,086			
うち一般財源		4,218,245	10,413,446	18,495,086			
職員給与費(c)(円)		1,435,600	1,397,400	1,381,853			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	①西深井福祉会館大広間等バリアフリー改修 ②流山及び江戸川台福祉会館トイレ改修 ③会議テーブル、イスの整備（全館）	③取り組みの課題	①江戸川台及び駒木台福祉会館非常用照明改修 ②思井及び駒木台福祉会館トイレ改修 ③南流山福祉会館外壁部分補修
②今年度(H26)に実施した取り組み	①平成26年10月完成 ②平成26年11月完成 ③平成26年9月完了	④今後の改善計画	①～③今年度実施 計画的に和式トイレを洋式の温水洗浄便座に改修する。